

H301		地域公共政策	
英名科目名	Regional and Public Policy		
大学名	京都光華女子大学		
連絡先	学生サポートセンター学修担当 TEL : 075-325-5350 FAX : 075-325-5317		
担当教員	杉岡 秀紀 (キャリア形成学部キャリア形成学科非常勤講師)		
開講期間	2021年04月05日(月)~2021年07月19日(月) 全授業回をオンデマンド実施とする 休講 (学校行事) 2021年04月19日 (月) 第4回目は曜日振替として、5月8日 (土) に実施する。		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場			
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	<p>【成績評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度 ・授業態度・積極性 ・レポート <p>【成績評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業理解度：毎回講義後にふりかえりを書いてもらいます。その内容で平常点の評価をします<30%>。 ・授業態度・積極性：講義内に積極的に発言する、グループワークに積極的に取り組むなどなど授業態度を加点評価対象とします<10%>。 ・学期末にはレポート課題を出します。このレポートの内容で講義全体の理解度を評価します<60%>。 <p>欠席は減点となり、欠席率が1/3を超えると評価しません。なお、遅刻・早退は3回で欠席1回とします。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科目等履修生 (履修料20,000円、選考料科目数を問わず10,000円) 聴講生 (聴講料10,000円、選考料免除)		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>女子のみ受講可 受講者人数によって、本学開講基準により不開講になる場合があります。</p> <p>【授業時間外学修(予習・復習等)について】 学校教育法に基づき大学でもルールを定めた法令「大学設置基準」の第21条では、「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準」とすることが定められています。このうち90分で開講する本授業を2時間相当として15回開講します。したがって、「法令で定める45時間 - 授業時間30時間 = 授業時間外学修(予習・復習)時間15時間」となり、1単位分につき15時間の予習・復習が必要となります。本科目は2単位でありますから、30時間の予習・復習が必要となり、毎週平均して2時間の学修が必要です。このため、授業時間以外に学修時間を確保できるようにスケジュールを組むようにしてください。</p> <p>この授業では、光華ナビにレジュメを公開しますので、予習としてその資料を読んだり関連情報を調べたりしてください。復習としては、授業で学んだことや考えたことに関する資料を調べたり、人と話したりするなどして自分の意見を創るようにしてください。様々な情報に触れることで意見は変化しますが、それで構いません。そうやって視野を広げた上で自分の意見を創ることが大切です。</p> <p>以上のような予習・復習が授業時間外の活動となります。</p>		

	<p>【担当者からのメッセージ(履修上の留意点等)】 講師は、行政、民間企業、NPO、大学など多様な職場で働いてきた経験があります。そういった意味から本講義においては、机上の空論ではなく、現場から抽出されたエッセンスもお届けしたいと思っています。</p> <p>特に「地域公務員型の地方公務員」「地域に飛び出す公務員」「パラレルキャリア型公務員」などを目指す公務員志望者、「初級地域公共政策士」などに興味のある学生、グローバル志向を持った学生に多く受講してもらえればと思います。</p>
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	<p>【授業テーマ】 地域社会に影響を及ぼす公共政策の立案プロセスと評価方法を理解する。</p> <p>【授業の概要】 私たちは誰でも政策を考える当事者になることができます。しかし、「政策を考えている人」と「政策を決めている人」は必ずしも同じではありません。たとえば政治の世界であれば、国であれ、地方であれ、「選挙」というプロセスを通して、代理人を選ぶことになっています。また、行政の世界でも「試験」というプロセスを通して、公共のために奉仕してくれる公務員を私たちの代理人と見立て、政策の執行をお願いする仕組みとなっています。</p> <p>そこで、本講義では前半で政策とはそもそも何かを理解することから始め、政策が決定されるプロセスや評価のための視点を学習します。中盤では、その中でとりわけ地域の公共政策に注目し、近年地域公共政策をとりまくトピックス(テーマ)を学習します。後半では公共政策が地域に与える影響を理解すべく、地域公共政策の事例(ケーススタディ)というこで、身近な地域公共政策の事例をテーマに理解を深めます。</p> <p>以上の内容から公共政策を「自分ごと」として捉えられるようになってもらいたいと思います。キャリア形成学科のソーシャル・マネジメント領域に興味のある学生、その中でも公務員やNPOなど公共政策系のキャリアを目指す学生にはぜひ積極的に受講頂きたいと思っています。</p>
【到達目標】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公共政策が決定される立案プロセスを理解している 2. 公共政策の事例や評価方法を理解している 3. 公共政策が地域に与える影響を理解している
講義スケジュール	<p>【授業計画及び授業内容】</p> <p>第1回目：オリエンテーション(授業目的・目標・授業概要等の解説)、公共政策学とは何か</p> <p>第2回目：公共政策とは何か</p> <p>第3回目：公共政策のデザイン(アジェンダ設定、政策問題の構造化、公共政策の手段、規範)</p> <p>第4回目：公共政策の決定(政策決定と合理性、利益、制度、アイデア)</p> <p>第5回目：公共政策のガバナンス(公共政策の実施と評価、公共政策管理のシステム)</p> <p>第6回目：地域公共政策と協働</p> <p>第7回目：地域公共政策と大学</p> <p>第8回目：地域公共政策とNPO、ソーシャルビジネス</p> <p>第9回目：地域公共政策と人材育成</p> <p>第10回目：地域公共政策と話し合い</p> <p>第11回目：地域公共政策と主権者教育</p> <p>第12回目：地域公共政策と広域行政</p> <p>第13回目：地域公共政策と関係人口</p> <p>第14回目：事例研究</p> <p>第15回目：事例研究</p> <p>【授業方法及び学生への課題・小テスト等のフィードバック】 本講義はオンライン(zoom)で開講します。内容は、基本的に座学、トピックス理解、事例(ケーススタディ)から構成されます。講義中には簡単なペアワークやグループワークを組み込み、テーマについて学習者同士で意見交換する時間を取り、多様な気づきを共有し、学びを深めていきます。講義後は、簡単な課題を出し、次の回の冒頭で共有する時間を作ります。疑問点や質問についても毎回のふりかえりで疑問点や質問事項を確認し、次の回でフィードバック</p>

していきます。

教科書	なし
参考書	秋吉孝雄・伊藤修一郎・北山俊哉『公共政策学の基礎(新盤)』有斐閣ブックス、2015 秋吉孝雄『公共政策学入門』中公新書、2017 石橋章市朗/著 佐野巨/著 土山希美枝/著 南島和久『公共政策学』ミネルヴァ書房、2018 足立幸男・森脇俊雅編『公共政策学』ミネルヴァ書房、2003 今川晃編『地域公共人材をつくる』法律文化社、2013 今川晃編『地方自治を問いなおす』法律文化社、2014 今川晃編『自治体政策への提言』北樹出版、2016 今川晃・牛山久仁彦編『自治・分権と地域行政』芦書房、2021 大山耕輔『公共政策の歴史と理論』ミネルヴァ書房、2013 加藤寛・中村まづる『総合政策学への招待』有斐閣、1994 政策分析ネットワーク編『政策学入門』、東洋経済新報社、2003 同志社大学大学院総合政策科学研究科『総合政策科学の現在』2016 原田晃樹・杉岡秀紀編『合併しなかった自治体の実際』公人の友社、2017 宮川公男『政策科学の基礎』東洋経済新報社、1994ほか 村田和代編『これからの話し合いを考えよう』ひつじ書房、2020